

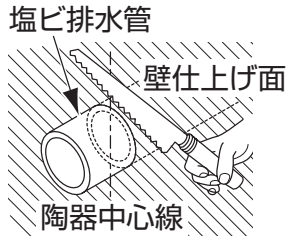
## TOTO

## 壁用・床用排水フランジ(塩ビ排水管用)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

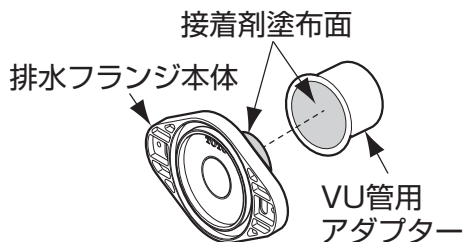
- 1** 塩ビ排水管を壁仕上げ面で切断し、残りクズを取り除く。

※壁または床仕上げ面から塩ビ排水管が飛び出している、壁または床と陶器の間にすき間が発生する原因になります。



- 2** VU管用アダプターを先に排水フランジ本体に取り付ける。同梱のVU管用アダプター内面と排水フランジ本体差し込み部外周に塩ビ用接着剤を塗布し、いっぱいまで差し込み取り付ける。

塩ビ排水管がVU管の場合



※VU管用アダプターを先に塩ビ排水管に取り付けると、VU管用アダプターが所定の位置に取り付かず、壁または床と陶器の間にすき間が発生したり水漏れの原因になります。

- 3** 排水フランジ本体を塩ビ排水管に**仮挿入**して、ガタの有無を確認する。



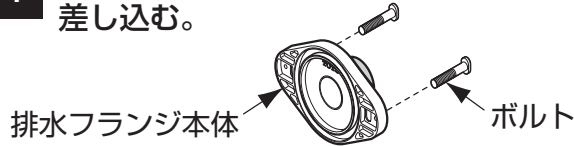
**注意**

ガタがあり、はめあいがゆるい場合、塩ビ排水管への取り付け時には、必ず**高粘度タイプ**の塩ビ用接着剤を使用すること  
一般タイプの接着剤では水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

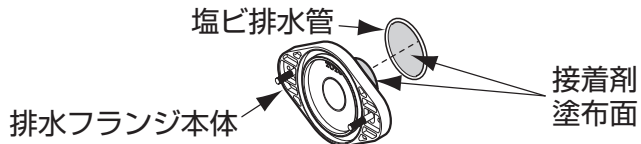
必ず実行

**TOTO指定高粘度塩ビ用接着剤**  
TOTO指定の高粘度塩ビ用接着剤をご使用ください。  
品番：HH05062  
名称：高粘度接着剤

- 4** ボルトを排水フランジ本体の横の楕円穴2カ所に差し込む。

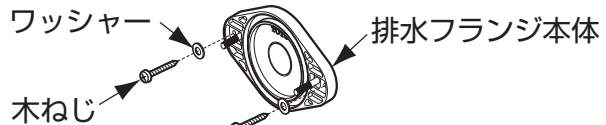


- 5** 排水フランジ本体の差し込み部(VU管アダプター外周)と塩ビ排水管内面に塩ビ用接着剤を塗布し、排水フランジ本体を塩ビ排水管にしっかり押し込み取り付ける。(接着剤を使用しないと水漏れの原因になります)



※フランジの中心を陶器中心線にあわせてください。一度接着すると、手直しができませんので、ご注意ください。

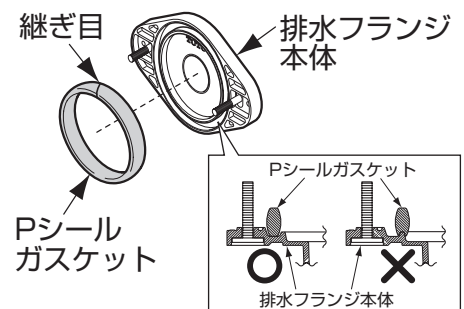
- 6** 木ねじで、排水フランジ本体を壁面に固定する。



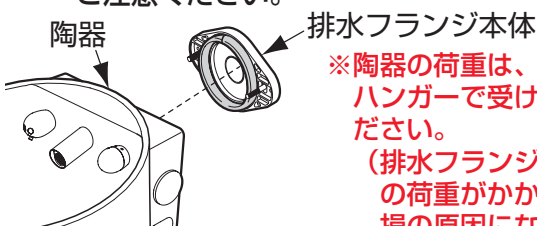
※固定が不十分だと、陶器がガタつく原因になります。

- 7** 排水フランジ本体周辺のごみや水分を取り除き、同梱のPシールガスケットをフランジの溝に取り付ける。**Pシールガスケットを使用する際は、継ぎ目を上側にしてください。**

※Pシールガスケットを間違えて取り付けると、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



- 8** 陶器を排水フランジ本体にナットで締め付けて接続する。なお、ナットを強く締めすぎて、陶器を割らないようにご注意ください。



※陶器の荷重は、取付ボルトやバックハンガーで受けるように施工してください。(排水フランジのボルトに直接陶器の荷重がかかると、フランジの破損の原因になります)

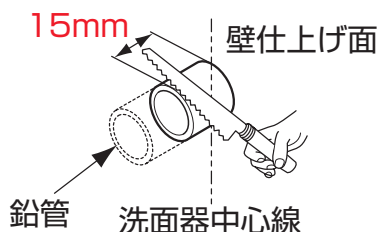
小便器にも使用可能です。

# TOTO

## 排水フランジ(鉛管用)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

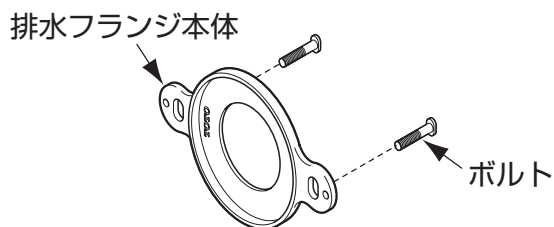
### 1 鉛管を壁面から15mmでカットする。



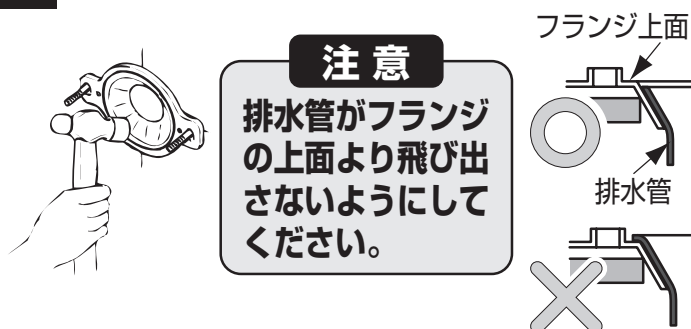
### 5 タンピンなどを使って、鉛管の先端を膨らませる。



### 2 ボルトを排水フランジ本体の横に差し込む。

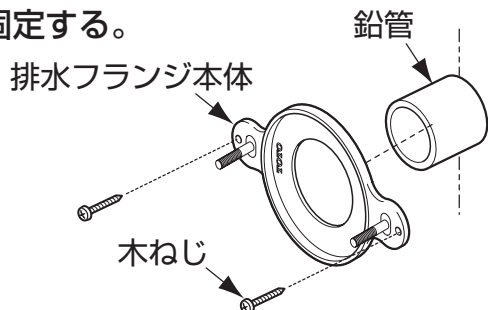


### 6 フランジ面に沿わせ、十分に広げる。



※鉛管の上端をはんだ付けしてください。

### 3 木ねじで、排水フランジ本体を壁面に固定する。



※フランジの中心を洗面器中心線にあわせてください。

#### ⚠ 注意

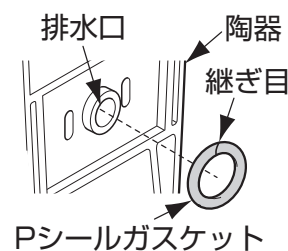


必ず実行

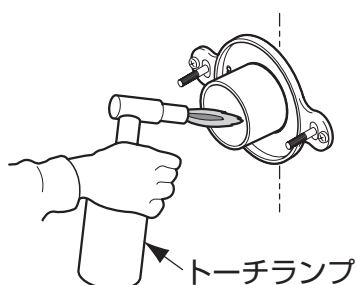
フランジ本体を壁面にしっかり固定すること  
フランジ本体の固定が不十分だと、洗面器  
がガタつき、水漏れして家財などをめらす  
財産損害発生のおそれがあります。

### 7 陶器排水口外周のごみや水分を取り除き、同梱のPシールガスケットを陶器側の排水口に取り付ける。Pシールガスケットを使用する際は、継ぎ目を上側にしてください。

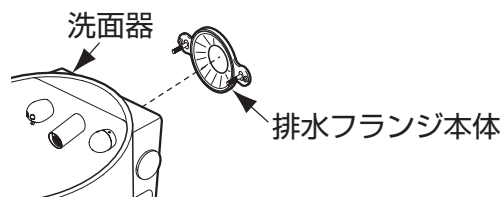
※Pシールガスケットを間違えて取り付けると、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



### 4 トーチランプで加熱する。



### 8 洗面器を排水フランジ本体に接続する。なお、ナットを強く締めすぎて、陶器を割らないようにご注意ください。



※洗面器の荷重は、取付ボルトやバックハンガーで受けるように施工してください。(排水フランジのボルトに直接洗面器の荷重がかかると、フランジの破損の原因になります)